

ながよ支えあい通信

令和4年1月発行 No.4

地域活動の紹介

百々カフェ（ドドカフェ）

【場所】

百々カフェ（三根郷・元剣道場）

不定期で開いていますので、フラットとお立ち寄りください



カフェの風景



百々カフェ 熱田 絵美氏

戸隠神社の麓のこの地を、祖父好太郎が疎開地として求めたのは1941年（昭和16年）ごろと聞いています。その後、長男だった父が1969年に「戸隠道場」という剣道場を建てました。2016年に父が他界し、その剣道場をリフォームして、人が集まれる場所を作ろうと思ったのがこのカフェの始まりです。

百々カフェ（ドドカフェ）という名前は父の俳句の号（百々平）からとりました。最初は父の妹を講師にして、皆で布草履作りをしていましたが、今は、隠川内の匠が技を伝授しています。始めて3年、ゆるーく何の縛りもありません。どうぞのぞいてみてください。

つながりができました

熱田氏の元仕事仲間やご近所さんを中心にカフェを楽しんでいます。また、インスタで繋がった方々との輪ができました。



参加者の声

- ・声をかけられてから、カフェに参加するようになりました。一人より、みんなとおしゃべりするのが楽しいです。
- ・布草履に興味を抱き、お手伝いしてくれている若者が後継者になってくれるといいな。



布草履作り

長与町では、住み慣れた地域で安心して暮らすための取り組みを進めています。地域の支え合い、生活支援の仕組みづくりを行うため『支えあい「ながよ」推進協議体』が発足しています。

地域デビュー「ボランティア講座」

11月20日（土）と12月4日（土）の2日間、長与町役場水道局3階にてボランティア講座を開催しました。1日目は、さわやか福祉財団の鶴山氏より「今、助け合いを広げる時」の講話とワークショップ、生活支援コーディネーターより地域資源の紹介をしました。2日目は、「地域活動における心構え」について飯盛町の地域共生助け合い隊代表である藤本氏と町内で地域活動をされている久原ご夫妻による体験談を講話していただきました。



ボランティア講座 1日目



ボランティア講座 2日目



参加者の声

- ・ワークショップを通じて、支援してほしいと声を出すこと、そして、それを聞くことが重要だと改めて感じました。
- ・地域共生助け合い隊の活動は、素晴らしいものです。話にも力がありましたね。分かりやすく話に引き寄せられました。リーダーシップがすごい！！久原さんのお話は、とても楽しいものでした。退職後の時間の使い方を考えさせられました。

『支えあい「ながよ」推進協議体』委員のご紹介



小林 由起

これから求められる支え合い活動について幅広い年齢層に必要性を発信し、住み慣れた場所で住み続けるための生活支援の相談・支援を行ってまいります。



山口 沙起

地域の皆さんと一緒に支え合い活動を広げる取り組みを進めていきたいと考えています。今後も地域活動の情報収集や周知活動を行っていきます。

他、政策企画課、地域安全課、福祉課、生涯学習課の4名の委員がいます。

皆様と一緒に支え合い活動を推進します！

生活支援コーディネーター

小林 由起（長与町地域包括支援センター）

山口 沙起（長与町社会福祉協議会）